

野鳥の撮影は大変です。大抵の小鳥は動きが速く、むしろじっとしていることのほうが稀です。遠くから撮れば鳥を驚かせることはありませんが、相当に明るい（つまり高価な）望遠レンズが必要です。近づけば必ず逃げられてすまうし、野鳥の生態に影響も与えてしまいます。そもそも、都会から野鳥の多く住む高原や森林に出かけるのも一苦労です。

今回試した新型のネットワークカメラは、これらの欠点を全部解決してくれます。遠隔操作で、東京から北軽井沢の野鳥を、まるで現地で観察しているように撮影できるのです。野鳥が餌を探しに来る場所や時間帯は、種類によっておよそ決まっていて、その時間帯を狙ってみます。この日も夕方に「シメ（アトリ科）」が集団で現れました。動画を見るとわかりますが、最初は広角で狙い、拡大したい部分をPCの画面上でマウスで四角く囲うだけで、瞬時にそこにズームしてピントも合わせてくれるのです。

シメは警戒心が強く、なかなかそばに寄って撮影できない野鳥なのですが、かなり寄せて撮影できました。自分の撮影技術というよりも、ネットワークカメラの機能の優秀さの産物です。本来は監視カメラ用の製品なのですが、野鳥や動物の生態観察にも威力を発揮する機種と確信しました。

(2024年4月中旬／北軽井沢／遠隔観測)

